

## 中期日本海海況予報 No. 2

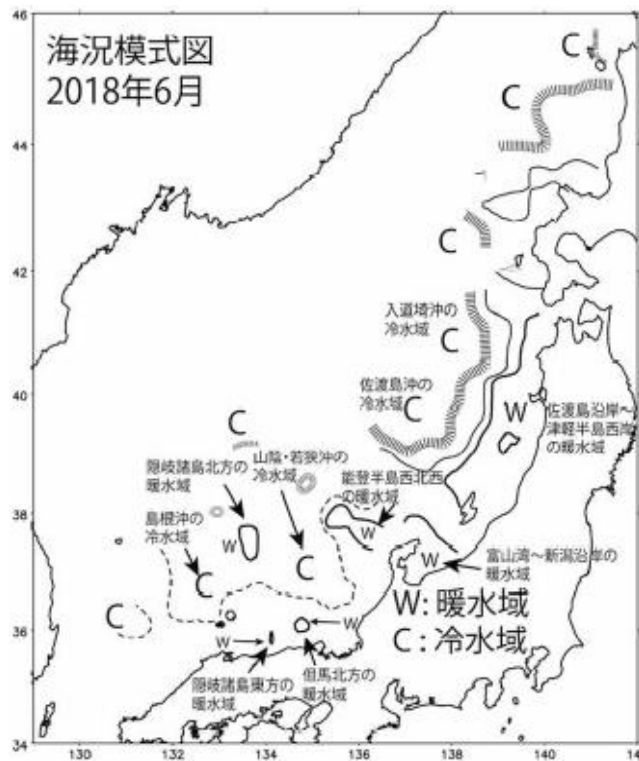
### 今期の見通し（平成30年7月中旬～9月）

#### ① 水温

- ・対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部では“やや高め”で経過する。

#### ② 暖水域、冷水域の動き

- ・能登半島西北西の暖水域は、勢力を拡大しつつ北東に進み、能登半島北西～佐渡島北方に分布する。
- ・富山湾～新潟沿岸の暖水域は北東に進み、消滅する。
- ・佐渡島沿岸～津軽半島西岸の暖水域は弱体化し、津軽半島西岸に分布する。
- ・佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸する。



平成30年6月の海況模式

この予報は、平成30年7月6日に国立研究開発法人水産研究・教育機構日本海区水産研究所が同研究所及び関係道府県の調査結果をとりまとめ発表した日本海海況予報に基づいて作成しました。なお、日本海全域の情報を知りたい方は、日本海区水産研究所のホームページをご覧ください。  
(<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)。